平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場会社名　コムチュア株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3844　URL　http://www.comture.com/
代表者　(役職名) 代表取締役会長　(氏名) 向　浩一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長　(氏名) 細川　琢夫　TEL 03-5745-9700

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,614	40.2	165	962.1	167	385.1	101	879.5
24年3月期第1四半期	1,151	―	15	―	34	―	10	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　92百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　6百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	19.39	19.24
24年3月期第1四半期	1.98	1.95

(注)平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、24年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,344	2,407	71.8
24年3月期	3,420	2,379	69.4

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　2,401百万円　24年3月期　2,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	3,700.00	3,700.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		11.00	―	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
平成24年4月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割しております。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,320	38.3	270	134.3	272	102.8	166	149.6	31.62
通期	7,000	26.7	700	51.2	700	42.9	427	68.0	81.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	5,250,000 株	24年3月期	5,250,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	― 株	24年3月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	5,250,000 株	24年3月期1Q	5,250,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあるものの、欧州債務危機の再燃による世界景気の減速感の広がり、中国における成長鈍化など、世界景気の減速が国内の経済状況に与える影響が懸念され、予断を許さない状況で推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業においても、システム投資に慎重な姿勢を示すユーザ企業は多く、厳しい事業環境が継続いたしました。しかしながら、クラウドコンピューティングやモバイルソリューション、及びこれらのＩＴ技術の変化に対応した関連サービスへの関心及び需要は以前に増して高まりつつあります。

当社グループにおきましても、「クラウド時代を“コラボレーション”でリードするコムチュア」を経営ビジョンに掲げ、グループウェア、Ｗｅｂ、ＥＲＰソリューション、及びネットワークサービスを事業の柱とし、新しいサービスを創出し、顧客企業のシステムライフサイクルの全てにおいて高品質のサービスを提供してまいりました。

特に、クラウド及びモバイル分野においては、市場規模の拡大に連動して当社グループの業績も堅調に推移いたしました。また、平成24年１月にテクノレップス・ジャパン株式会社の全事業を譲り受け、同社が得意としていた金融系及び通信系分野への拡大に取り組んでまいりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高1,614百万円（前年同四半期比40.2％増）、営業利益165百万円（前年同四半期比962.1％増）、経常利益167百万円（前年同四半期比385.1％増）、四半期純利益101百万円（前年同四半期比879.5％増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ソリューションサービス関連

当セグメントにおきましては、お客様の“ささやき”を吸い上げ、チームプレーによる積極的な提案活動を展開しました。クラウド＆モバイル市場の成長を背景とした事業の拡大に加え、金融分野での新システム構築、基幹系システムの旺盛な更新需要などから、売上高は1,026百万円（前年同四半期比13.9％増）、営業利益は123百万円（前年同四半期比270.1％増）となりました。

② プロダクト販売関連

当セグメントにおきましては、当社グループ全体の営業活動を担い新規顧客層の開拓と既存案件の拡大に取り組みました。当社グループの堅調な成長に牽引され、売上高は10百万円（前年同四半期比332.0％増）、営業利益は０百万円（前年同四半期は12百万円の損失）となりました。

③ ネットワークサービス関連

当セグメントにおきましては、震災の影響に伴うクラウド活用の拡大、データセンタの運用ニーズ及びネットワーク基盤サービスに対する需要の高まりを受け、積極的な事業展開をいたしました。また、平成24年１月にテクノレップス・ジャパン株式会社の全事業を譲り受け、同社が得意としていた金融系及び通信系の分野が強化されることとなりました。その結果、売上高は592百万円（前年同四半期比138.0％増）、営業利益は41百万円（前年同四半期は４百万円の損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて76百万円減少し、3,344百万円となりました。これは主に、現金及び預金が211百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が170百万円、有価証券が100百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第１四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べて104百万円減少し、936百万円となりました。これは主に、未払法人税等が53百万円、賞与引当金が122百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第１四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べて28百万円増加し、2,407百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が64百万円あったものの、四半期純利益を101百万円計上したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

直近の業績動向を踏まえ、本日（平成24年７月27日）「業績予想及び配当予想の修正、並びに中間配当の実施についてのお知らせ」を公表しております。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更による影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,141,842	1,353,407
受取手形及び売掛金	995,274	825,258
有価証券	100,525	－
仕掛品	14,710	41,041
その他	171,074	160,660
流動資産合計	2,423,425	2,380,367
固定資産		
有形固定資産	338,937	333,104
無形固定資産		
のれん	88,301	83,653
その他	20,348	14,925
無形固定資産合計	108,650	98,579
投資その他の資産		
投資有価証券	234,802	213,856
差入保証金	183,780	183,830
その他	131,351	135,171
投資その他の資産合計	549,934	532,858
固定資産合計	997,522	964,541
資産合計	3,420,948	3,344,909
負債の部		
流動負債		
買掛金	251,443	238,440
未払費用	237,270	270,089
未払法人税等	121,733	68,491
賞与引当金	196,066	73,729
その他	85,153	137,731
流動負債合計	891,667	788,482
固定負債		
資産除去債務	58,553	58,780
その他	91,225	89,666
固定負債合計	149,778	148,447
負債合計	1,041,445	936,929

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,900	308,900
資本剰余金	248,900	248,900
利益剰余金	1,821,201	1,858,253
株主資本合計	2,379,001	2,416,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,499	△14,980
その他の包括利益累計額合計	△5,499	△14,980
新株予約権	6,000	6,906
純資産合計	2,379,502	2,407,979
負債純資産合計	3,420,948	3,344,909

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	1,151,142	1,614,050
売上原価	939,090	1,257,871
売上総利益	212,052	356,178
販売費及び一般管理費	196,458	190,546
営業利益	15,594	165,631
営業外収益		
受取利息	6,083	1,671
受取配当金	10,782	581
複合金融商品評価益	1,969	－
その他	114	196
営業外収益合計	18,948	2,448
営業外費用		
有価証券償還損	－	525
その他	－	2
営業外費用合計	－	527
経常利益	34,543	167,551
特別損失		
固定資産除却損	2,994	－
投資有価証券評価損	18	0
特別損失合計	3,012	0
税金等調整前四半期純利益	31,530	167,551
法人税、住民税及び事業税	21,137	65,749
少数株主損益調整前四半期純利益	10,392	101,802
四半期純利益	10,392	101,802

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	10,392	101,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,993	△9,480
その他の包括利益合計	△3,993	△9,480
四半期包括利益	6,399	92,321
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,399	92,321
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	ソリューションサービス関連	プロダクト販売関連	ネットワークサービス関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	899	2	248	1,151	―	1,151	―	1,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	―	0	1	―	1	△1	―
計	901	2	248	1,152	―	1,152	△1	1,151
セグメント利益又は損失(△)	33	△12	△4	15	―	15	△0	15

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．セグメント利益の調整額 △０百万円は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間(自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	ソリューションサービス関連	プロダクト販売関連	ネットワークサービス関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,026	0	586	1,614	―	1,614	―	1,614
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	10	5	15	―	15	△15	―
計	1,026	10	592	1,629	―	1,629	△15	1,614
セグメント利益又は損失(△)	123	0	41	165	―	165	―	165

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．当第１四半期連結会計期間より、従来の「システム構築関連」「プロダクト営業販売関連」「ネットワーク運用関連」から「ソリューションサービス関連」「プロダクト販売関連」「ネットワークサービス関連」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該変更はセグメントの名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

該当事項はありません。